

ほっとする(け)んこっだより

令和4年5月
熊野東中保健室

楽しみにしていたGWが終わりましたね。みなさんの元気そうな表情を見ると、コロナ禍の中でそれぞれ充実した5日間を送れたのかなと感じています。暖かくなって、夏のような暑さの日もあります。感染症対策と熱中症対策をしていきましょう。

コロナ対策 ～継続は力なり～

①毎朝体温を測定し、カードに記入して持って来よう！

クラス全員が忘れずに持ってきた場合、ニコニコシールを回収ファイルに貼っています。ニコニコ笑顔いっぱいになるクラスはどこかな～？



②マスクを着用しよう！

うっかり忘れてくる人がいますが原則、登下校中もマスクは着用です。もしもの時のためにかばんに予備を入れておくといいですね。学校で借りた場合は、家にあるマスクをきれいな袋に入れて、翌日に返却しましょう。

③清潔なハンカチやティッシュを用意しよう！

寝る前に準備をすると朝バタバタしなくて済みますよ。

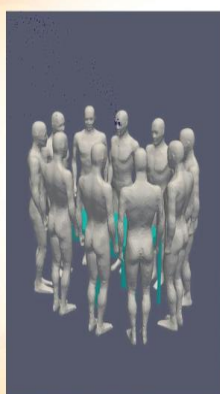
屋外でマスク無しの会話 感染する？！

理化学研究所などのグループが、スーパーコンピューター「富岳」で屋外でのマスク無し会話についてシミュレーションを行いました。シミュレーションでは、屋外で10人がテーブルを囲んで輪になって飲食している場面を想定しました。向かい合う人同士の間隔を1メートルとし、風が吹いていない状態でマスクをつけていない人が30秒間大声で話した場合、正面の人とその両隣の3人が飛沫を浴びるという結果になりました。また、そよ風が吹いている場合は小さな飛沫は周辺に広がり、正面や風下にいる人など6人が飛沫を浴びました。

理化学研究所のチームリーダーは「屋外であっても近づいて話し合うような場面では換気の効果は期待できず、風の吹き方によっては、屋内よりも感染リスクが高い。人と接するときは、屋内でも屋外でもマスクを着用し、距離を取り合うなど対策を緩めないことが重要だ」と話していました。

屋外でもマスク無しで会話をすると、飛沫が飛び、感染のリスクがあるということです。

マスクをしていれば1mの距離で到達する飛沫量はほぼ「ゼロ」だったというデータもあるため、マスクによる飛沫飛散の抑制効果は大きいことが分かります。



マスク着用 1mの距離 微風

到達する飛沫量は
ほぼゼロ

マスクによる飛沫飛散の
抑制効果は大きい

提供: 理研・神戸大
協力: 豊橋技術科大・京工繊大・東工大・九州大

豊橋技術科学大学 飯田明由教授

県内ではGW明けに再び100人を超える感染者が出ており、過去最多の人数です。病床のひっ迫具合も60%を超えている状況です。一人ひとりの行動が大きな結果につながると信じて、予防をしていきましょう。

また、新型コロナウイルス感染症の罹患は誰にでも生じる可能性があり、誤った情報や不確かな情報に惑わされないよう冷静に行動しましょう。感染者及びその家族、医療福祉関係者、外国人などに対して絶対に誹謗・中傷・差別をしないでください。